

2023年度以前入学生 「教育課程の編成・実施方針(カリキュラム・ポリシー)」

学部・学科・専攻	
人間学部	人間学に関する各学科に共通する基礎知識を修得し、年次の進級とともに学科・専攻の専門性を深めていける講義・演習・実習の科目を配置しています。卒業論文・卒業課題研究の作成により各領域における課題を認識し解決する力を修得することができるカリキュラムを編成しています。
人間学部 宗教学科	宗教学と宗教史の基礎的な理論を踏まえながら、仏教、キリスト教、イスラームといった世界の主要な宗教伝統の成立と歴史的展開、思想などを学ぶ科目、天理教の原典や教義、歴史について学び、個々の信仰の涵養と豊かな人格形成につながる科目を体系的に配置しています。 1年次では基礎演習と基礎科目、2年次では発展科目、3年次では研究演習および発展科目を履修することで段階的な理解を深める編成となっています。さらに学修の総まとめとしての卒業論文作成に向けた演習を3年次と4年次に配置したカリキュラムを編成しています。
人間学部 人間関係学科	人間社会の理解を深める基礎科目と各専攻の専門的な学識を深めるための発展科目を配置しています。少人数制の演習・実習科目を1年次から4年次まで段階的にカリキュラムを編成しています。
人間学部 人間関係学科 臨床心理専攻	臨床心理学はもとより、心理学の幅広い領域に関する学識を修得するための講義科目と実践スキルを養うための演習・実習科目を体系的に配置しています。 1年次では入門演習、2年次では基礎科目および発展科目、3年次では発展科目および実習科目を履修する編成となっています。さらに学修の総まとめとしての卒業課題研究作成に向けた演習を3年次と4年次に配置したカリキュラムを編成しています。 また、公認心理師(国家資格)受験資格に必要な科目を配置するとともに、臨床心理士(公財 日本臨床心理士資格認定協会)の資格取得に接続する知識とスキルを修得しうるカリキュラムを提供しています。
人間学部 人間関係学科 生涯教育専攻	生涯学習の意義を理解し生涯学習支援に資する専門的知識・技術に関する科目を体系的に配置しています。 1年次では基礎演習、2年次では基礎実習および基礎科目、3年次では発展科目を履修する編成となっています。さらに学修の総まとめとしての卒業論文作成に向けた演習を3年次と4年次に配置したカリキュラムを編成しています。 また、地域社会や諸学校・行政と積極的に連携して社会教育の実務や地域連携に携わる実習科目を設け、4年間を通じて多様な学びの場に触れながら同時に生涯学習支援の専門的職業能力を身につけることができるカリキュラムを提供しています。
人間学部 人間関係学科 社会福祉専攻	社会福祉および関連諸領域の理論や方法、制度などを学ぶ講義科目をはじめ、具体的な実践方法を学ぶ演習・実習科目を体系的に配置しています。 1年次と2年次では基礎演習と基礎科目、3年次では発展科目および実習科目を履修する編成となっています。さらに学修の総まとめとしての卒業論文作成に向けた演習を3年次と4年次に配置したカリキュラムを編成しています。 また、社会福祉士(国家資格)と精神保健福祉士(国家資格)の受験資格を得るためのカリキュラムを提供しています。
文学部	国文学、国語学、歴史学、考古学、民俗学に関する各学科に共通する知識の修得を基礎とし、年次の進級とともに学科・専攻の専門性を深めていける講義・演習・実習の科目を配置しています。卒業論文の作成により各領域における課題を認識し解決する力を修得することができるカリキュラムを編成しています。
文学部 国文学国語学科	国文学および国語学の専門分野における知識を深め、日本の文学や言語の基礎を学び、各時代分野の内容を深化させた科目を体系的に配置しています。 1年次では基礎演習および概論、2年次では発展科目、3年次と4年次では各自が選択した時代分野に応じた科目を履修する編成となっています。さらに学修の総まとめとしての卒業論文作成に向けた演習を3年次と4年次に配置したカリキュラムを編成しています。
文学部 歴史文化学科	歴史学、考古学・民俗学に関する専門的な知識を身につける科目を体系的に配置しています。 1年次では基礎演習および概論、2年次では歴史学研究コースと考古学・民俗学研究コースの2コースに分かれ、それぞれの基礎科目、3年次と4年次では各自が選択した時代と地域に応じた科目を履修する編成となっています。さらに学修の総まとめとしての卒業論文作成に向けた演習を3年次と4年次に配置したカリキュラムを編成しています。 (歴史学研究コース) 2年次以降の「研究」「講読」で知識を深め、自ら史料を読む力を養成します。また2年次の「歴史学研究入門」、3年次の「演習」、4年次の「卒業論文演習」によって、自ら課題を立て調査を計画する構想力、調査結果を分析・考察する論理的思考力、考察の結果として得た知見を伝える表現力、討議し考えを深めるコミュニケーション力を高め、段階的に卒業論文が作成できる能力を身につけます。 (考古学・民俗学研究コース) 講義科目によって考古学・民俗学の専門知識を系統立てて学び、実習科目によって発掘調査・民俗調査の専門技術を習得し、資料を収集・分析、研究成果を引き出す力を身につけます。また演習科目によって、自ら課題を発見し、研究計画を立て調査を実施する構想力、その結果を分析・考察する思考力、また自らの知見をわかりやすくまとめる表現力、議論を展開できるコミュニケーション能力を高めます。2年次に「考古学・民俗学研究入門」、3年次に「考古学・民俗学課題研究」、4年次に「卒業論文演習」を配し、講義・実習科目とあわせて段階を追って卒業論文の執筆を進められるようにします。

学部・学科・専攻	
国際学部	国際的な視野、国際交流・協力の姿勢および語学を学び、年次の進級とともに、講義・演習・実習・海外研修により、学科・専攻の専門性を深める科目を配置しています。卒業論文・卒業課題研究の作成により各文化・言語地域における問題を分析し論考する力を修得することができるカリキュラムを編成しています。
国際学部 外国語学科	伝統に培われてきた専攻語科目をはじめ、国際社会に対応できる能力を身につける講義、演習科目を年次の進級とともに配置しています。現地で実施する語学実習、異文化理解に裏付けられたグローバルな視野をもつ人材の養成ができるカリキュラムを編成しています。
国際学部 外国語学科 英米語専攻	英語力を礎に専門性の高い学問を語学・文学・歴史・社会・教育などの領域について探求することができる科目を体系的に配置しています。1年次と2年次では文法および語彙力・英語読解力・スピーキング能力・オーラル・コミュニケーション能力・プレゼンテーション能力を養成する科目、3年次と4年次では2年次までに養成した語学力を生かして専門性の高い学問を語学・文学・歴史・社会・教育などの領域を選択し英語と日本語で幅広く学ぶ科目を設け、さらに学修の総まとめとしての卒業論文作成に向けた演習を3年次と4年次に配置したカリキュラムを編成しています。また、語学力の向上、海外生活の経験のために約3週間の英語圏における語学実習（2～3年次）を必修科目として配置しています。
国際学部 外国語学科 中国語専攻	中国語力を礎に専門性の高い学問を語学・文学・歴史・社会などの領域について探求することができる科目を体系的に配置しています。1年次では「入門」、2年次では「基礎」、3年次では「展開」として、中国語コミュニケーション能力、文章読解・作成能力、情報収集・分析能力を段階的に身につける科目を設け、さらに学修の総まとめとしての卒業論文または卒業課題研究作成に向けた演習を3年次と4年次に配置したカリキュラムを編成しています。また、語学力の向上、海外生活の経験のために約3週間の中国または台湾における語学実習（2～3年次）を必修科目として配置しています。
国際学部 外国語学科 韓国・朝鮮語専攻	韓国・朝鮮語の運用能力を身につけ、それを土台として言語学、文学、歴史、社会文化、言語教育などの領域において専門性の高い学問を探求することができる科目を体系的に配置しています。1年次では入門段階、2年次では基礎段階、3年次では応用段階の韓国・朝鮮語コミュニケーション能力、文章読解・作成能力、情報収集・分析能力を身につける科目を設けています。さらに学修の総まとめとしての卒業論文または卒業課題研究作成に向けた演習を3年次と4年次に配置したカリキュラムを編成しています。また、語学力の向上、海外生活の経験のために約3週間の韓国における語学実習（2年次）を必修科目として配置しています。
国際学部 外国語学科 スペイン語・ブラジルポルトガル語専攻	スペイン語力およびブラジルポルトガル語力を礎に専門性の高い学問を語学、文学、歴史、社会、教育などの領域について探求することができる科目を体系的に配置しています。1年次では「入門」、2年次では「基礎」、3年次では「応用」において、選択した各言語でのコミュニケーション能力、文章読解・作成能力、情報収集・分析能力を段階的に身につける科目を設け、さらに学修の総まとめとしての卒業論文または卒業課題研究作成に向けた演習を3年次と4年次に配置したカリキュラムを編成しています。また、語学力の向上、海外生活の経験のために約3週間の各自が選択した言語圏における語学実習（2～3年次）を配置しています。
国際学部 地域文化学科	入学時に研究コースと各コースに対応する地域言語を一つ選択し、学科専攻科目の中に学科共通科目、研究コース専攻科目、地域言語科目を設け、それぞれに入門、基礎、展開、研究科目群を体系的に配置しています。1年次では選択した地域言語の基礎と各研究コースの地域に関する入門的知識、地域に共通する問題や特徴を理解し、あわせて地域文化研究の方法に関する科目、2年次では地域言語の強化科目、地域文化学の学際的な文化領域である「表現」「生活」「社会」「スポーツ」を中心とした概論科目と地域文化研究の方法を実践的に学ぶ科目、3年次では文化領域を中心とした、より専門性の高い特論科目を設けています。さらに学修の総まとめとしての卒業論文作成に向けた演習を3年次と4年次に配置したカリキュラムを編成しています。また、「異文化実習」「異文化体験活動」によって多言語・多文化が併存する国際社会の現状を体験し、異文化理解と国際協力の感覚と能力を修得できる科目を配置しています。
国際学部 地域文化学科 日本研究コース	地域文化学科のカリキュラムポリシーのもとに、地域言語科目を日本語として留学生在が日本文化を段階的に学ぶことができる科目を体系的に配置しています。